

輝け若人

県内の建設コンサルタントに内定をいただいた。そもそも私は土木関係の仕事に就くとは考えていなかった。高校は機械系で土木とは無縁だったが、「土木でも学んでみようか」と第一工業大学に入学。卒業後について悩んでいたところ、「地域ボランティア」の話があり、参加することにした。

い土地で多くの方と関わり、その地域の魅力を知ることができた。土木と無関係かと思えるボランティアだが、

と知った。
変化を続ける土木業界。「新しいものをつくるだけでなく、その地域に生き続ける構造

私は霧島が好きだ。生まれ育ったこの地で、今後も生きていきたい。一方、まだまだ知らないことも多く、ボラン



第一工業大学 4年
自然環境工学科

野間 雄人さん

物を今後もどのように残せるのか」が大きな課題だと思う。残すには、その地域を理解しなければならない。

ティアを通じて「地域を知つて寄り添うこと」が大事と気付かされた。霧島、さらには鹿児島をもっと知り、地域に根付く技術者になりたい。これから先、大学4年間で学んだ知識、経験を生かし、鹿児島に住む人々が安心して暮らしていけるまちづくりを目指したい。

来月の「輝け若人は

宮之城高等技術専門校

を紹介します

